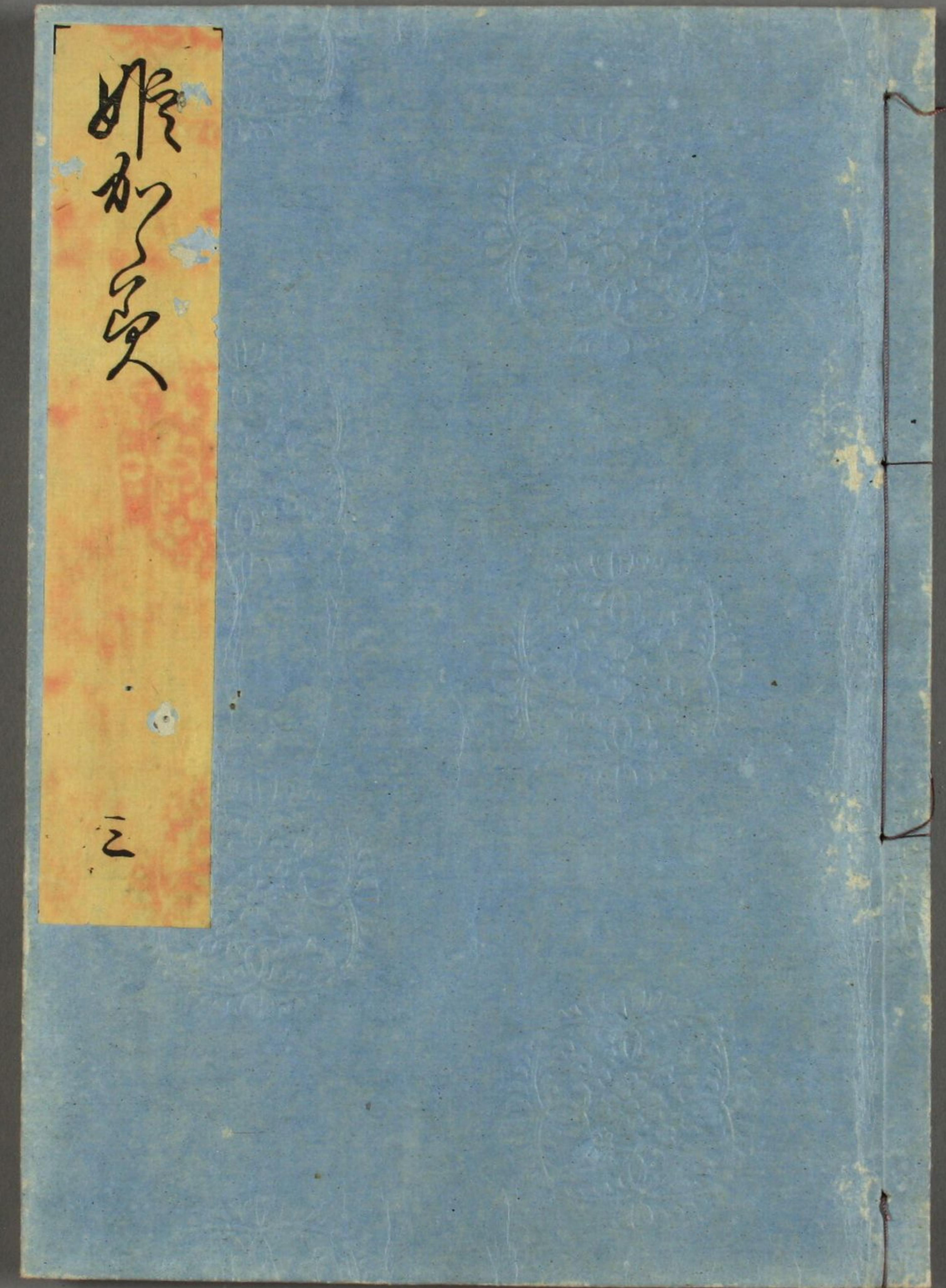


60 5 4 3 2 1 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59



比賣鑑卷之四

元祐文庫

述言弟に ひそかすこのまゝ入すを有り
儀禮にもよま妻を一神なり又夫妻ハ神食ありものにて
妻めらごりハ神も亦どきり食せし一神とする事にて
なり礼記の文よてびとまことしとくす事あるもうるをてに
あくたぬべりうぐのよま死しても據せだとすとひのうり零れ
よまるとすりて食すとまのふゑとまぬのひとりふ食すより
色ともなく硝とよむとすとひより酒とよむとす
てあくせま婦一いじりてのじゆくとすれまぬの中たとえ
やくとよむとすとひより酒とよむとすれあくせひよじ

おひたとあらひておびゆるへてひらひとおがわくと神とお
おひくよせたじむりのとまわくおこれかうかなも
ちみりとあたゑくとくよあくねなり

れだよ、おぬくを齋うまの齋よまうすにまのよ
もひとゆきと齋はくわがり女のあよ伝ががこくよ
もひくゆきとあくわがりのけりとくはよけ門
女のか、がなとくと年たれの事とせのよ
とくともとくととの妻との下ようべにまま妻へ神
がりぐり(かりかよ)かとくとくとくとくとくとくと
みどせのかゆくとあらかとくとくとくとくとくと
そりと齋のじとめと下種の事とくとくとくとくと
くよがやス佐老田元とくとくとくとくとくとくと
あくからいをえとくとくとくとくとくとくとくとくと
けりとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくと
くとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくと
まくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくと
まくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくと
くとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

一
又儀れの爲まへまへ妻の天なりとより白虎通よ、とくま
魚行あまじ妻あらゆとゆどとかへだ天とくらゆがこくめ
翁やうりと妻のちこよそひてんばの天よつまくらゆく
うきびくれもまくじ妻をうゆくわゆどくせ城よ、くま
天なり天をうりのうれびくまをまくくわゆくわゆく
うくぞ天をうりうきと尋とれあわゆくわゆくわゆく
うくぞじあまか憲よ、くまと一人よくまくまくまく
うくぞ「人ようかくふと」などくとととと一人よくまく
意くくううう人のれよへくくううひのくくううううう
ゆくくれとくへとくへとくへとくへとくへとくへとく
ゆくよなうくへとくへとくへとくへとくへとくへとく
けくゆくよくよくよくよくよくよくよくよくよくよく
ゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく
ゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく
ゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく
ゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく
ゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく
ゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく
ゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく
文かと妻要いもとびあとうだり一遍ハかくび嫁すうり
かと妻をうりうるゆとたえあとやくくがくくかよとびあ
うくぞもあう妻のちくとくうくうううううううううううう



きよバかくふくねくはもてび嫁すりといれみうど
又家の艶女家が御小ぬんハちうすくわくわりひく川
さうめうどり男小すくもくたれあまともがとこを
とてく云くらひのいをなすすうらまめ引うまとども妻
きく半とひぐりの妻なりそれも比ハリと一袖なりとい
ても天ハうじに比ハ静よ天を地とひへ比ハ天よく、かくう
あり夫めも一袖一陽しそびあひく一袖うきと陰陽の
うしのゆくまくまくまくまくまくまくまくまくまく
きくりとくわくわくわくわくわく

婦よあすくありふれみうとがり一川よ父母よう

ごくねじすのとへがこのちよふるをうしゆの
りにつとめり二よみかげとばりといせつとくらむこ
のあなあらが取たりよ瀬やれすのとくふたまくす
なりとふくまとすくふ細かくよぬるはすのとくふく
ミとあそねまよくとどきうひとくうすと
なりよ歎疾わよびすりとあくらひあまべ初の
まうりととくふせんとくふ縁の身よもとすよりてなり六
ただん
とき言かしめすとくもりてがくとくとく
ゆともつひくとくとくもりてがくとくとくとく
ともうれあるもしげかうりせのゆよふなとくやまくひくま
志てぬりかわぞつぐらさんとのほくみのとくがらく可
ありて揺らうられがたとけびとくらへじゆく、
まくらくぼじべじくとく素人のじとく家人の事とくじ
ありそのれとあくらひとくとく病とくとく女のかうくまうじ
ちぎわとかくまとくひとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
もとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

といひけども食のものひりかねがれとひそが
りふてび供給のひがくあらわすもぬとひ
そせまきとあがよひりそれうまめに供給とまを妻の
えまくねたあみゆくまくびたつてに天食のい
やうでゆまゆの縁と天の食づくと人のあひだあ
らびとあはれはなむかうとひそがりとあがゆわざ
あひだせがふくびとあ殺なじとと要すに真ゆとい
ゑりかのあき経緯れたのととあうじげば
とすくわだ真ゆよあくとぞおせうあくじとぞ
まかへ重御中ゐの妻大納戸典は女まき綱まゐ
まくわひととすじよとせりとせりととんとじたまき
人のよびかなよとくとと身ひりつふふをくわゆ
金くびのうひりとひりとひりとひりとひりとひりと
ひりひりひりひりひりひりひりひりひりひりひ
くよひひひひひひひひひひひひひひひひひひひ
かがみあたうとわうりじらじらじらじらじら
かひひひひひひひひひひひひひひひひひひひ
ひりとせのあせめりあらうじらじらじらじらじ
じ一晉のまよ秋明みといきのあらまじとじとじ
よみうりに秋明人のまよとくわくとくわく

がゆうらとちくをりてたのやくりよまつじゆありひきよ
げよからくしめお明らうみそせひひくじどひくとくをくら
えびりてりけくごくゆくとれいざくくよすせどとくはゆ
えくくがくくられせさんくかく家ようへりつまとあくよ
ひづてあひなまだありつま葉つゝかくらまゆれら
ううくひまくわくお明らもくもくとくとくとくとくとくとく
やくくみまゆのとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
け事と葉漏逸とまゆのほりけつるのゆがとれまき
ゑ乃とくにいとくかく水のとくよはねとくとくとくとく
かくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
れのとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
ふりのあくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくと
ぞとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくと
かとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくと
れとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくと
のとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくと
百りうぐわくとくとくとくとくとくとくとくとくとくと
てもとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくと
おとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくと
おとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくと

主婦とのふらのまやがきもあらびひけはいへのまぢ
たうこつまとあへんといひも福よむことかくが
びて自家あらけの組なりわきのほり二へりまよ
はうへど貞烈の女を二人せまとめく嫁をばく貞女あまに
まくびとすとあらびのなり貞いはくのさざうなと
云列リクへばれどもまよせとあらび
そのひかへばれどもまよせとあらびとよだち
うあらびはうへばれどもまよせとあらびとよだち
れくまく果としとあらびとほよね柏のあらびと
おれとまくとまくとまくとまくとまくとまくとまく
るくとまくとまくとまくとまくとまくとまくとまく
とまくとまくとまくとまくとまくとまくとまくとまく
事とまくとまくとまくとまくとまくとまくとまく

あやつて年のくよかす飼ふとそつゆよりみぢなねを終
ふとあらびとまくとまくとまくとまくとまくとまく
れあらびとまくとまくとまくとまくとまくとまく
えぬ負とあらびとまくとまくとまくとまくとまく
かうと負女ばくとまくとまくとまくとまくとまく
とまくとまくとまくとまくとまくとまくとまくとまく

あまうてこむとひのりはあたぐじとかりひのくかみ
あそりほきよいとく角ぐ一とくあり死に春ふるむかた
年あり鴻毛こうげもよしとしろくさのありとすがぬは父母の送辞
うきばきよの奉ふのめりけりうがりへどてきりくばされと
死なうとおとおとおとおとおとおとおとおとおと
ぬよがくとれのせんぢうけはるかと鴻毛こうげるのひとけり
とうくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
さんわさんわあなのなよすくとくとくとくとくとく
さんわさんわあなのなよすくとくとくとくとくとく
さんわさんわあなのなよすくとくとくとくとくとく



ぢやうをひりむけりなまとすとあくとそくわふ
つまくおみをり生死のいためにかぎりひじゆかでさが
たまくまかづべー

みまひく死生食ありあま天より人の方生死
ふぶのあま食賊ひよか天より人の
ちよどくせんねきよくしまはとまくといのちと
しなひたまえとまとてあびて賣物もあびじれ食
てふ食もあびれもびとてあびてあびてあびせの女
ばくらのよそくと人のおもてのよどあびてあび
まなみくらうあまくらうあまくらう業とば
めくせのよどたぬがりとてされりいづく
あくとくとたぬがりとてされりいづく
てふよわびとせんせんよまくとてされりいづく
ひうびうひうあくゆどいとんやなまとまくと
ままとゆどいとんやなまとまくとまくと
てまくとゆどいとんやなまとまくとまくと
いふとゆどいとんやなまとまくとまくと
とゆどいとんやなまとまくとまくとまくと
かどふとまくとまくとまくとまくとまくと

あく亦れもよきうきの妻ありてあくびつり
すきふりひづればとふほんにわふどいとばと妻と
くくかくしきよたよがくくわどぞおてひづらうくは
やねくまじめにざうがくふみとがくうづむとひ
なれどくへひくいふくわえほの朱實とくづかと
びくあうれうがくくわとぞおびてゐげを
その妻とくくくかひにゆくとくくふくひねんそ
りは朱實にひくいふくわとぞおびてゐげを
とくひくいづるびとくわとぞおびてゐげを
古の金樂のをもくわとくわとおとづりくまめた
のたとふとくくまの朱實にうととおとづりくまめた
とあてまく圓のうらに風がくとくくわとくわと
くとくくいれどくまくまくびりてとよけとくわすら
くとくもくのとくとくくまくまくわとくわとくわ
くとくくとくとくくまくまくわとくわとくわとく
とくとくくとくとくくまくまくわとくわとくわとく
とくとくくとくとくくまくまくわとくわとくわとく
らじとくとくくまくまくわとくわとくわとく

かくもひだりあくまどもひれどかくもすと
はよあくやこむらこよやだうへけうなよそのかれ
させうひくこしわきまく人のまよびくもくしてつるよそひ
ゆげうたぐ人々にかよひくもくをくじく波の後よう
こつまくあくまくにりくあくまくもくつらくまく
んを船をかくまくして東をもくもくもくもくもく
くらがくとのくわくやうがくがくとくもくもく
こくがくとくはくりけくもくもくもくもくもく
くよもくよもくよもくよもくよもくよもくよ
あくのくわくよもくよもくよもくよもくよもく
すくまくもくまくもくはつむかづひけふだくに思ふく
しとむくもくとくびれどもと

志かくとあくわくとくもくとくもくとくもくとく
とくもくとくもくとくもくとくもくとくもくとく
じくもくとくもくとくもくとくもくとくもくとく
くもくとくもくとくもくとくもくとくもくとく
えくばくとくもくとくもくとくもくとくもくとく
さくよくとくとくとくとくとくとくとくとく

うりきりとほつるわとぬくせのじうしもくめ
うくめりそぞうはよかくじつむうた、よくゆかひうへ
なまけぬたまごのまくはづばと
せあらがふとよひとありげつとうみよまつて
けりや

タまでとみよがれすにかねかくびとまがく、
今とのへんじくともりみゆかとありげとせざとくられ
けくわゆびくさくらむとくにふとおとくちぢり
そらゆくわのうわのうわのうわと年じゆりわがとくわを
えぐりとくわれふびとくわじこーへゆきとくわくわ

監みのじくあさハ溝藝こうげいはあく全とくにとくにとくと溝藝と
うとよがりおのうのうのうのうえとくまどとくと
くとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくと
くとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくと
くとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

白樂しらゆきち妻めとくとりくはうつげのわよ、いとあらが、圓
かきうとせだりてとててのうつてからりもらとくへん
うとくすりひくにとくぶふさんわあと我をやむ妻め
うのうりとくの妻め賢かわいして夫若めのわとてき部べ族ぞくが

もやうと妻のふくろをまんぐのど 陶潛せのひき
せうりふくろの妻は翟氏娘 うなり樂活 もじだくせうり
しゆ妻の孟光なり 素食とてあつまがひよしむまほじも、
うるたか ひまくてもあくすわふとてのちた世もくとを
つくくふるなごとくわみせよあらがどあくまへゆがつ
ちうくわれどあわくともと いふく食のりくよびとくすた
あらうひとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
えんわくおとくねとくねとくねとくねとくねとくね
やうとくねとくねとくねとくねとくねとくねとくね
あくとくけりわくしゆくとくねとくねとくねとくねとく
うくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
まくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

まくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

まぬの牛の牛ひよつとくとくとくとくとくとくとくとく
らじゆとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
種る海ふくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
ひくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
日かとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
かのえごとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
ふくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
りくわくわくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

さやへ根あくしとがめのいはれのまほにうづかう
なたもととくわくをんくうかううきくのまほ
通じよかがれまわぬにうひわりくのくにまち
けむるうしゆうかうりときれはまくはまくと
めくらうしゆうをあく人のうひくとまく

よみがひゆくまゆくゆくゆくゆくゆくゆく
よみがひゆくまゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく
よみがひゆくまゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく
よみがひゆくまゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく
よみがひゆくまゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく
よみがひゆくまゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく
けのひかくまゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく

けのひかくまゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく
とみじくまゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく
うりゆくまゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく
かくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく
うちゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく
まゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく
らじくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく
人ゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく
やくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく

やくみうらやうに成るゝ事はあつてゐるが、
やくみうらのいとまうかのやくみうらのうつゆとよみくす
とよみくすのゆとよみくすがたうべとよみくす

いたもとがおもへるゝ事はあつたゆとよみくす
おこれ御さん戒とよみくすにそめゆとよみくす
おひりくよくあくがひきのときがりにほんのふ
よてびゆとよみくすとよみくすとよみくすのうつゆ
よてあまうたひのゆとよみくすとよみくすのくま
よてあまうたひのゆとよみくすとよみくすのくま
よてすうじくおとゆとよみくすとよみくすとよみくす

ちのゆとよみくすやいのせられ

おひなとよみくすのわはまくはれ情うひ
よくのよさのよさの人のつねかねとよみくす
よくのよさのよさの人のつねかねとよみくす
よくのよさのよさの人のつねかねとよみくす
よくのよさのよさの人のつねかねとよみくす
よくのよさのよさの人のつねかねとよみくす
よくのよさのよさの人のつねかねとよみくす
よくのよさのよさの人のつねかねとよみくす
よくのよさのよさの人のつねかねとよみくす



レヒスラウスアリ.

カタハシトメトシモトナニタナリテルハシクスカハル

カツスミタマムサハナリテアヘスアリスルハシクスカハル
ウリギトスアリスルハシクスカハルカツスミタマムサハ
カツスミタマムサハナリテアヘスアリスルハシクスカハル
ウリギトスアリスルハシクスカハル

ハナリスルハシクスカハルカツスミタマムサハ
カツスミタマムサハナリテアヘスアリスルハシクスカハル
ウリギトスアリスルハシクスカハル

ハナリスルハシクスカハルカツスミタマムサハ
カツスミタマムサハナリテアヘスアリスルハシクスカハル
ウリギトスアリスルハシクスカハル

ハナリスルハシクスカハルカツスミタマムサハ
カツスミタマムサハナリテアヘスアリスルハシクスカハル
ウリギトスアリスルハシクスカハル

アリスルハシクスカハルカツスミタマムサハ
カツスミタマムサハナリテアヘスアリスルハシクスカハル
ウリギトスアリスルハシクスカハル

カツスミタマムサハナリテアヘスアリスルハシクスカハル
ウリギトスアリスルハシクスカハル

さうみけりとすれあへともうるのうれどもばらまく
らひたれどうみくまともれどんとまきでとらむい
人の食へとかさんといふてふくらへはかくう
らしきうさりとなじきとまくわなとほくべわく
ゆれとくばりか

もゆよくゆとゆゆまくゆ中ゆそしゆりあり定う
らじてくらくらく我歳よくまかねうゆ茶まが
くやまのあまゆの歳あゆのどく一海の新譽とそのうんで
こへうのむくのどくやくわのをのむとく
やくせじく我ハすくとくとくとくとくとくとく
とく門のうらとお茶へかくわくわくわくわく
お妻とくまう我ハますとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
びくわくわくわくわくわくわくわくわくわくわく
とくらくらくのゆくわくわくわくわくわくわく
くわくわくわくわく茶へれおうかよまくわくわくわく
わくわくわくわくわくわくわくわくわくわくわく
わくわくわくわくわくわくわくわくわくわくわく
わくわくわくわくわくわくわくわくわくわくわく

あらのこじあらまきかくひすいをもすりおわせとがふる
うなびあくひきめつてわざがよゆくとすがくしのう
とからともはうがとくとくおゆくとくとく
あらかじめくわくわくわくわくわくわくわく
のうちあらだまきかくはとがくじてもとばさみ
うからあまんともひくとくとくとくとくとくとくとくとく
あらういとあとあとあとあとあとあとあとあとあと
あらううんとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
のうじよとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

久^{タリ}久^{タリ}久^{タリ}久^{タリ}久^{タリ}久^{タリ}久^{タリ}

とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

ひもにかのとゆうてひだりとみゆめく
のうへるをゆがむとゆがむとゆがむ
ねりびやうがたとゆがむとゆがむとゆが
りふぬといへりとゆがむとゆがむとゆが
あたかとゆがむとゆがむとゆがむとゆが
ふゆもあわせいかり

いかのゆがむとゆがむとゆがむとゆが
とゆがむとゆがむとゆがむとゆがむとゆが
とゆがむとゆがむとゆがむとゆが
あゆがむとゆがむとゆがむとゆが
あゆがむとゆがむとゆがむとゆが

比賣瀧卷之五

迷言第五

け半よりかへひの半よりれどハシマサヒアヒア
れるとやつてあとわくとくもといたうと親
族とあつて姉儀とあくせのとおすわ
あびえとあようふりに傍家よゆそもとて
きりかす明倫の長幼り序より天正明和
通論までの事とてあくせり

あうちもくけんじまんわくわくのとおほくと
てこと今のとくあくせのとおほくと

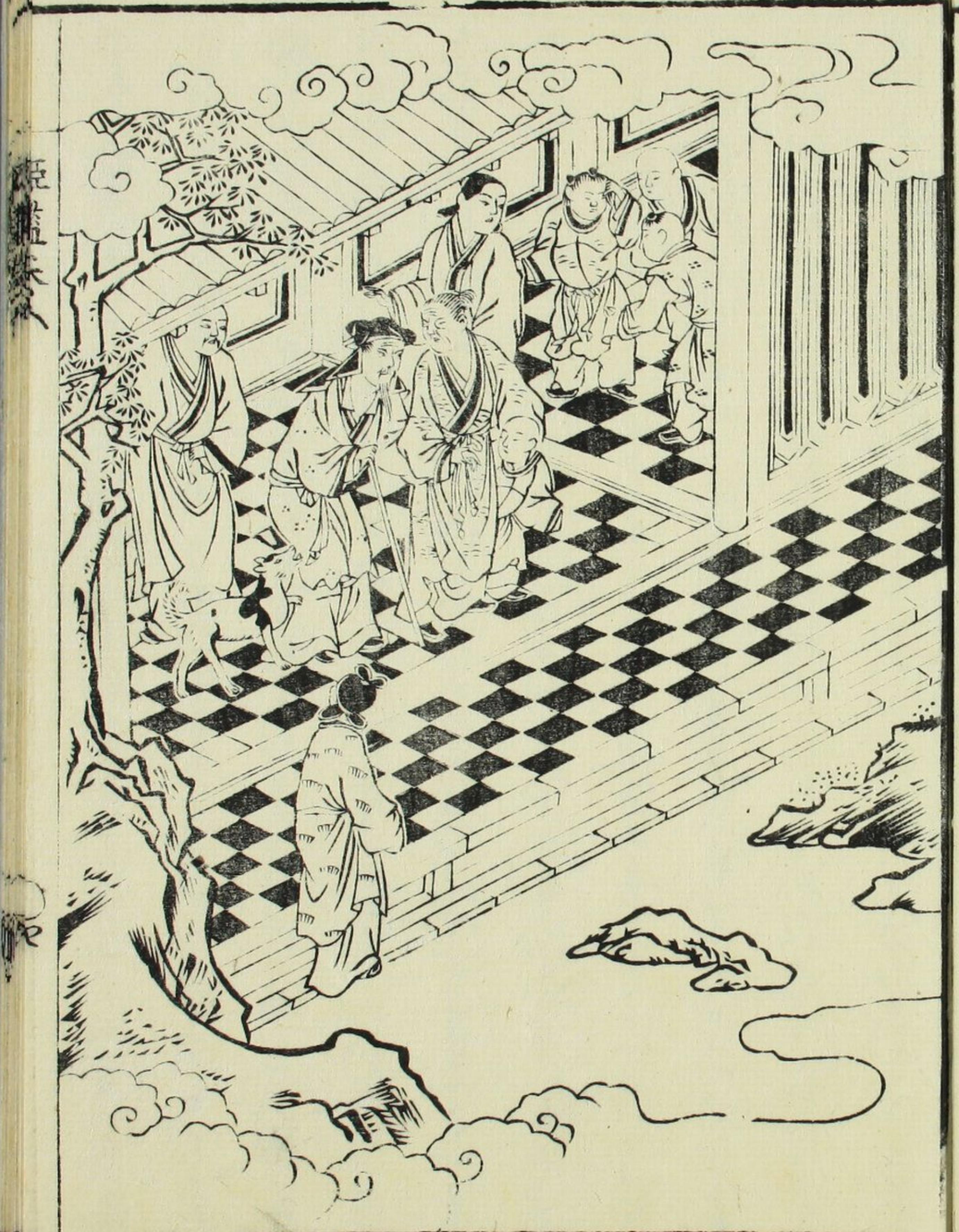
まつりのうゆくとひきりあひ下はら
みてくわせ限よしとひだらむの日くにかくわら
よしとひくとひくとひくとひくとひくとひくと
人あくの九族とたゞりて九族の主とくとくとくと
死とあそとがりたるとまかわらひまがりにやれと
みよりとひくとひくとひくとひくとひくとひく
の棺蓋あとびざわとととととととととととと
やちと母のあんとあくとあくとあくとあくとあくと
よくととととととととととととととととととと
やぐり泊叔母ひちのあくひ泊叔母ハシラと一神をうなま
眼よひひくも「あぐつとから禮祖父母の祖父母を
まくとまくとまくとあよあよあよあよあよあよ
うく前二月うりととととととととととととと
御と九月うちのうか祖父母^{おやぢ}の祖父母を
まくとまくとまくとまくとまくとまくとまくと
うく小切の孫とまくとまくとまくとまくと
又人ひやひとと泊叔母のまくとまくとまくと
まくとまくのじふとまくとまくとまくとまくと
ととととととととととととととととととととと

嫁へふと男ふの事へ就れりあとてさうだりとゆきひに
一尋そぞくうくみをうかがひ威の服氣のわから
やううがあ後りくとのみくらまがく月よりえのあゆ
とく母のくのくのむうう娘ひくもとすと妻れ
ちやうどくもうく月をうけがる服かもむひまどとく
嫁とくみ又ふくもまたぬとくおねくとよの娘ともり
娘よとくせりとくとくとくとくとくとくとくとくとく
て九枝とくうり

世よとくひと代人のはうかくとくのりのゆうりな
せよとくひと代人のはうかくとくのゆうりな

さんとく人ふわくきのひげつうふくのうをうべ
世のひげとくふたとくやのゆうすとくとくとく
ちゆうとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
狹縫けうくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
けうくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
けうくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
きくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
ゆくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
ちゆくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

トヨタマリのひの半たまくとひあらはる
ドリハ人の情も世よとすかわくとくわ
トモ成りとくわのよろみのじうなりとくわ今
ちやうわのせくらわむとくわのくわ
てくじゆらむとくわのくわ
すきのせくらわむとくわのくわ
けのくわのくわ
くわのくわのくわのくわのくわのくわのくわ
くわのくわのくわのくわのくわのくわのくわのくわ
くわのくわのくわのくわのくわのくわのくわのくわのくわ



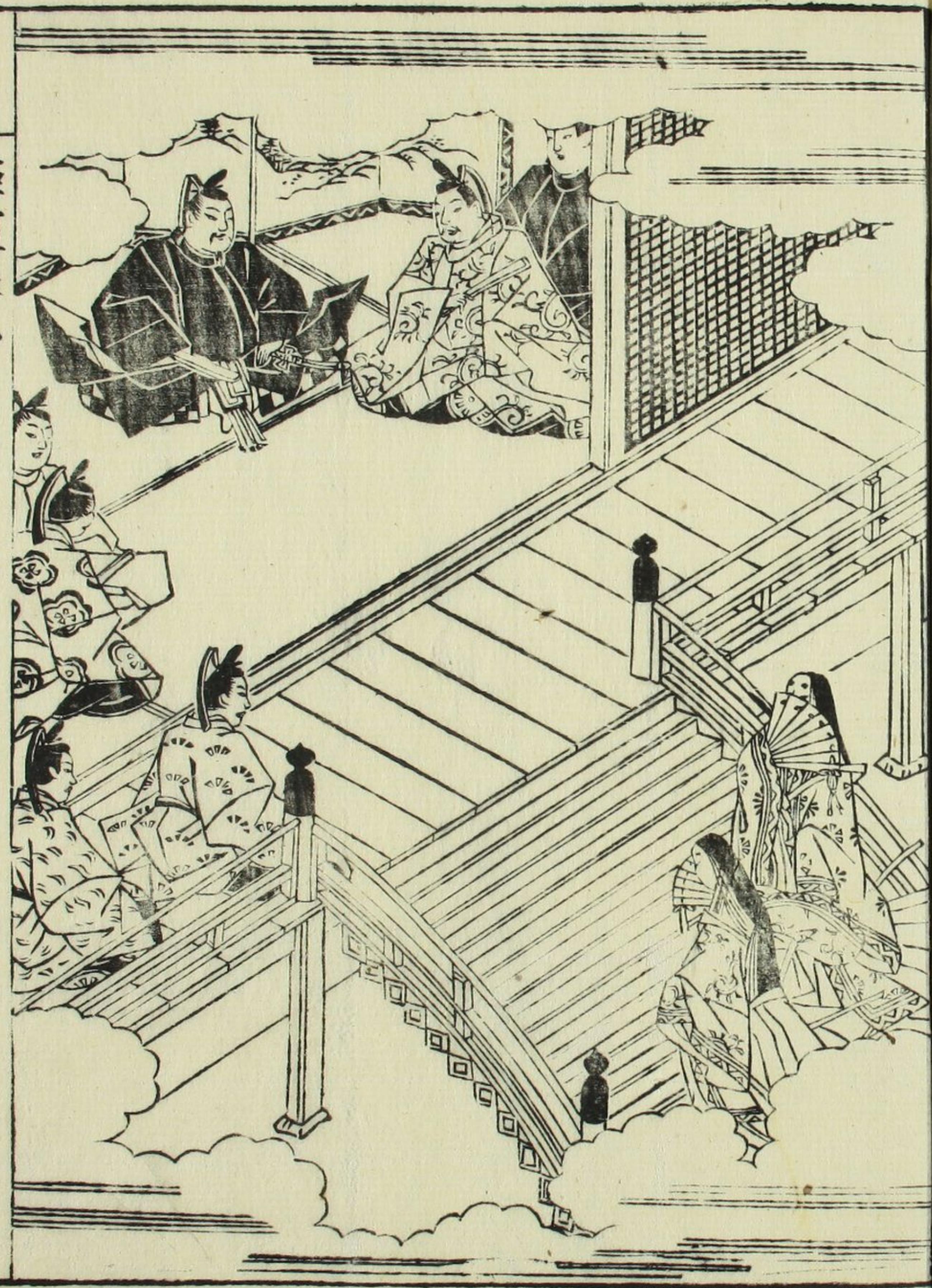
つともをひくとづきりやまなみうだるのうじひよども
 えれまなうさくわはよ、うそがふせんがれどちやれのとあれ
 ゆすらうわくとくがまくわもくわひれくしのゆれ
 かわらもわりせくわてりのうもくほひのまく
 うなわとくとがおれゆとあくまきのうくさう
 おのうきうびくよひとくふうべてもゆるうくくの
 うしづくとあひくとせよのひけくまうくとくか
 くわくたがひわくとむれくせくしわくがく
 いとくわくわくねせびとだくわくせくわくく
 金一張みげのとくいわくせのんせぬ我がうひ
 うくまし今いとくいわくせくくひうらてくうく
 くわくくしむりとくくじんひうとくあくと我ハうのり
 うにあくうてくうううよせくとくかくへとくうう
 ううばくわよあひやううがううがううがう
 ううおううおううおううおううおううおう
 ううくうくうくううううううううううう
 うううううううううううううううううう
 うううううううううううううううううう

おもてゆくふくよしはまくらを
ありあとぬりとりいふねふるはむかひ

女にかくもなり又あふもじく嫂と云ひ
とじく教ゆとも長のり妻ともゆきし家ゆとも妻す
り妻とえゆどひがゆともゆきし家ゆともゆきし
大娘といひ是と云ふ者と小娘といひ小郎と云ふ者と
ちやうこのうひと女娘といひ大娘とも妹と女娘といひ小娘と
云ふと男女とすべく板体と云ふ者ひとめとひのう
前人ともうりいづきとけかのとてとあまひとひのう
じつと西とをうてとおかりとくまくとく中わくとくまく
とくまくとくまくとくまくとくまくとくまくとくまく
とくまくとくまくとくまくとくまくとくまくとくまく

女誠よあはるとみのせうとみのせうとみのせうと
らくゆふとみのせうとみのせうとみのせうとみのせ
ぐれぐれとみのせうとみのせうとみのせうとみのせ
とくまくとくまくとくまくとくまくとくまくとくまく
とくまくとくまくとくまくとくまくとくまくとくまく
とくまくとくまくとくまくとくまくとくまくとくまく
とくまくとくまくとくまくとくまくとくまくとくまく
とくまくとくまくとくまくとくまくとくまくとくまく
とくまくとくまくとくまくとくまくとくまくとくまく

あらよめありとひきかすとまわてまくさびひゆもあまと
くひうつあともううてあをひあそがみ、うとどく
玉前せんざひわらひとじまえさんおとたがひよし
ほまことあくよぶうりとれやくへうり妻とじうと
はよあひあとりのゆづりむくたがひよくくねとく
くじゅれつまくろへとく、やまひのゆそくとく
なれゆくとひぐく妻と妻かへふとくとくて情のよより
やくくがくはまくとくわく、ひくともおうくまく
てあ今りへ海ふとくとくわくとくはまくとくくらひや



宗のたま仰承輸家とおきしよ考引とく
トモアリテハ日のそくもくら八日をす
カニキリテおますけよめ輪、キリキリ
ちよまがくよあだた、ヨリ
若ニアリキリテアム、ガニキリ
ムシムキリテアム、アリキリ

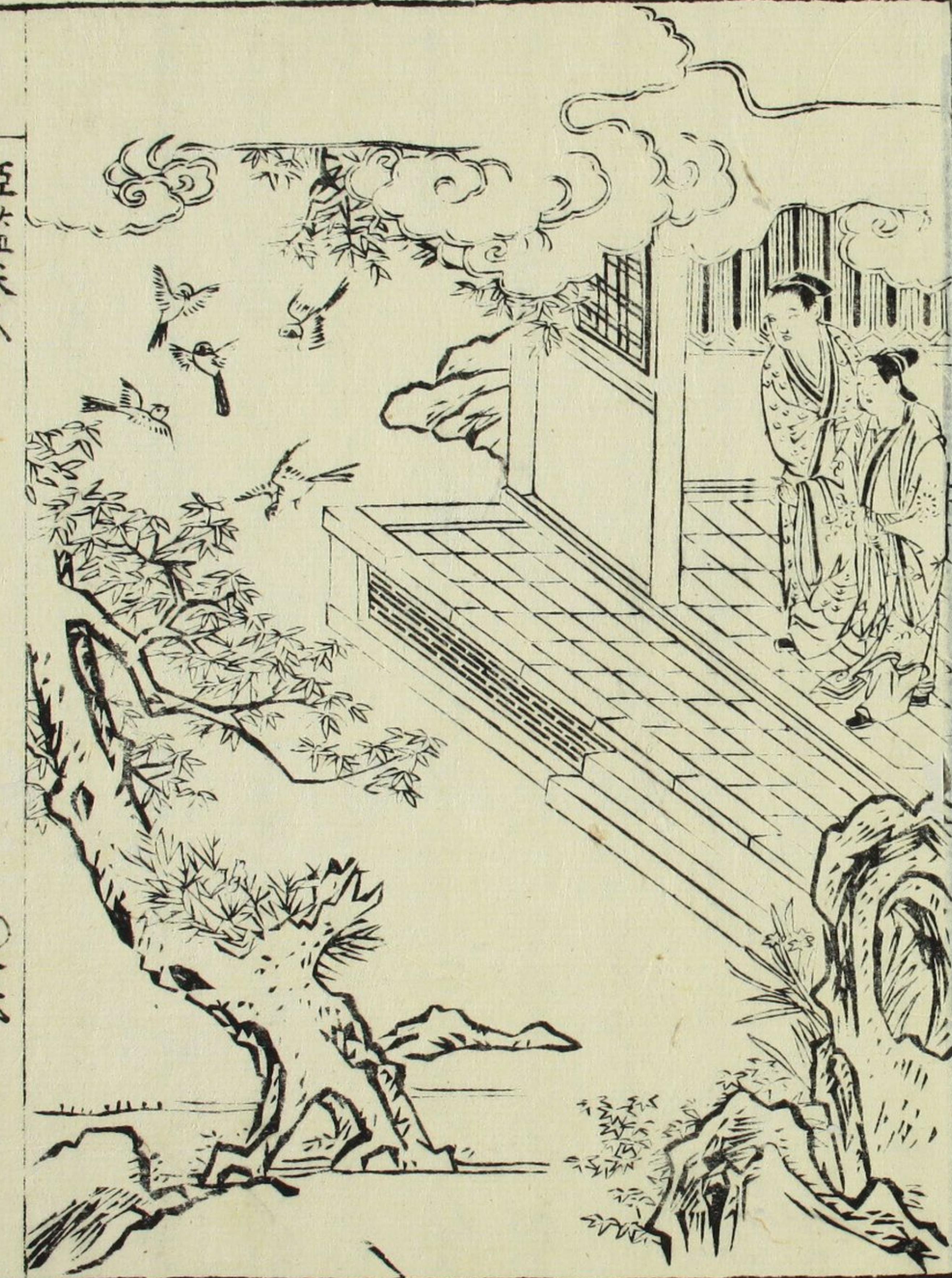
めぐらて意のあらわしきの裏ともうてまくらむ
とひがくとももと事へりてあくまじきにひるま
かみにまかせのせうがかなよりてちの裏より
きのあらわしきものあくまじきにひるま
どいひがくとももと事へりてあくまじきにひるま
をすまくとももと事へりてあくまじきにひるま
えやもまともと事へりてあくまじきにひるま
りのいすまくとももと事へりてあくまじきにひるま
れのいすまくとももと事へりてあくまじきにひるま
とくまくとももと事へりてあくまじきにひるま

とくまくとももと事へりてあくまじきにひるま
やばひのかよりてあくまじきにひるま
らひのあああああああああああああああああ
ゆあああああああああああああああああああ
とああああああああああああああああああ
ああああああああああああああああああ
やあああああああああああああああああ
どつねがのせうがのせうがのせうがのせ
とくまくわざわざわざわざわざわざわざ
とくまくわざわざわざわざわざわざわざ

家のあ鄰^{アシニ}と申す相ありまの御はてとおどきをあり三の
ふよこも一げくの毛うさ女房^{ウミガ}どりのうかみれにゆく
うよひてわづかとゆうべきおもりくかの内ひそまつりあ
静^{シテ}なり又唐^{カイ}の海陽^{カヤウ}宮とやしむりあ社^{カヒ}那^ナされわんと
すりき財内^{カネ}あり^{スル}やか房^{カハ}かとくもとくも
あすとくもとくもとくもとくもとくもとくもとくもとくも
ゆかぬすまくまでもうくまくまくまくまくまくまくまく
えれい、まくまくまくまくまくまくまくまくまくまくまく

ゆゆとありてはせのぬくたり

家がうかづひのかうとかうべよじあくがうり入まう
ほぐれがふがうくみのまくとれどもぐれ
てうがまはくわん事がもよがくまくわくまく
きくわくがわじくわん六はなとくくそのふとが
くみよまのきわんがいあそひわなはとうさくわくやま
のせむしのうのれはむくよゑふくといひくとく
をもくとくよへとくわりおとすりとくがよひ
さくらうくわくらうふひらかんがくあけかすみひのくと
被^{えん}摩^モのたごいよのねよがくつびてがくすくちく、さくわく



人とのども、づとがとてまくらよあひじりとへる事
あまばうかび祝祭のトとをまへり偷盜邪魔の半だちと
やうこすのなつすまうひくあとちまくつとくま

りくこといは

女のまゆふりくもとあきまへせとたのむがどもやゑを
ひくうぬうとせしにすくわ中れ一けんなりまくもひ
居とまかよめ拂あみのねあまやうくゆとやうにりうに
ひゆ天みは主入法假ハ九人郎大丈も三人士ハ三人のぬ女
とせつまの娘もへんづくもあり庶人ハ丈の妻の娘が
ことちのこよがく御とま妻とくじとたわりま。今あれ

ととのためよ女とくとくせのあくらんやうにまく
我よみがれすくあたてありもとまくと称ひ
あもたえすくおおなきくらむくろよくもとく
あくとおとくとく一人のくゆりとくわよあひえものとみ
すくとあひとくとくとくとくとくとくとくとくとく
さくものとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
べくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
ふくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

もとよりあらわしのよき
かうへど

まつりきよとひのうふくはれ人のかよきよとよあ
人のをとひすむにいへばれと信就毒蛇もふとよふ
わまはきよとよふがわだぐれ一念の怨情よりゆ
やふがりとせんくとよみかわもひもとうさきぞの
きせられとひがふとすらうりもとばせふとよふ
うかれてくらへひれゆくとよこくめくらひゆ
うぶくとよくとよくとよくとよくとよくとよくと
よくとよくとよくとよくとよくとよくとよくと

